

はじめに

令和5年度は、3年間と長きに亘った、新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行となり、社会活動も徐々にコロナ前に戻っていったことから、感染防止には心掛けながらも、通常の活動ができるようになってきました。

県内の観光客数もコロナ禍前の状況にまで戻りつつあるもの、団体旅行の減少など旅行形態にも影響が見られます。

こうした中、当協会ではデータに基づく観光地域づくりの進展に努めるとともに、外国人のための相談業務の充実、感染防止を徹底した物産展の開催や観光商談会の実施、MICE 支援事業や誘致活動に力を入れてきました。

令和6年度も引き続き、会員の皆様方と一層の連携を深めながら、県の掲げるリトリートの推進など、本県の地域資源や特徴を生かした魅力ある地域づくりのため各種事業に取り組んでいく所存です。

また、令和3年度から実施してきた当協会の執行体制強化については、ステークホルダーである会員のみなさんにも改革の効果を体感いただけるよう、ミッションに沿った体制に整備していきます。

1 国際化推進

ぐんま外国人総合相談ワンストップセンターの運営、外国人のための医療通訳派遣事業などを引き続き実施し、多文化共生社会へ向けた地域づくりを推進していきます。

2 観光物産振興・推進

観光地域づくり法人として、引き続きデータプラットフォームの構築・運営を進め、データを活用した地域活性化のための施策提案や協働事業の実施に取り組むなど、その機能を強化します。

令和5年3月にリニューアルした観光公式サイト及びSNSによる情報発信を積極的に行い、国内外からの誘客及び観光物産振興に努めます。

3 MICE 推進

群馬県コンベンションビューローとしてGメッセ群馬を核としたMICE 推進のため、各団体の全国大会、国際会議等の誘致や事業者紹介などの開催支援を県と協力して取組み、地域の活性化に努めます。

4 収益事業の見直し

旅行業及び観光施設事業の収支を改善し、公益事業実施のための財源支援に充てられるよう努めます。特に観光施設の赤城事業については県及び入居団体と連携し、今後の事業展開の方向を協議します。

5 協会の運営・改革

法令等に基づき適正な協会運営に努めるとともに、令和3年度から進めている協会改革について昨年度作成したミッションに沿い、執行体制・事業の見直しを着実に実施していきます。

I 国際化推進事業（公益目的事業1）

1 多文化共生支援事業

在住外国人に対し、県内全域を対象とした情報の収集・発信と多言語コミュニケーション支援を軸として、多文化共生社会へ向けた地域づくりを目指す。

（1）「ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター」の運営

20,771千円（5年度 20,724千円）【県受託事業】

外国人の生活・就労等に関する相談に、多言語及びやさしい日本語で速やかに応じ、適切な情報提供や取り次ぎを行うほか、国や市町村と連携し、情報共有や情報発信を行う。

開設時間 9：00～17：00（月～金） 開設場所 群馬県庁昭和庁舎1階

① 窓口運營業務

英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語の相談員を配置し、外国人等の相談に多言語で応じる。

② 外国人のための専門相談

在住外国人からの各種相談に対し、専門家による無料相談会を設け実施する。

ア 弁護士、行政書士、社会保険労務士等による相談会を市町村や関係機関と連携し実施する。（年10回）

イ 出入国管理局職員と連携し相談業務を行う。（毎月第4火曜日）

ウ 法テラスの指定相談場所に係る業務を行う。（毎月第2、4火曜日）

③ 外国人相談実務者のための研修

外国人相談業務に携わる実務者を対象に、非常時の対応や相談対応における基礎や最新の制度改正等についてのスキルアップを図るとともに、他の相談機関との連携や相談員同士のネットワーク構築等を目的とした研修を実施する。

④ 多言語情報発信事業

外国人を対象とした生活情報を収集し提供するとともに、ぐんま外国人総合相談ワンストップセンターの周知を図る。

ア 多言語WEBサイト及び多言語facebookの運営

イ 外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行

ネット環境にない外国人を対象に多言語情報誌を発行する。

発行回数：年4回

（2）新型コロナウイルス感染症に係る多言語支援事業

【県受託事業】（廃止）

（3）医療通訳派遣事業 814千円（5年度 673千円）【県受託事業】

外国人県民の保険医療環境を整えるとともに、医療機関が診療する上での負担を軽減するため、医療通訳ボランティアの派遣を行う。

2 国際交流・協力推進事業

県内の国際交流・協力活動の活性化を図るとともに、県民が参画する国際交流・協力活動の促進へ向けた環境整備を行う。

(1) 国際交流ボランティア人材バンクの運営事業（廃止）

(2) 国際交流団体等連携事業 130千円（5年度 130千円）【自主事業】

（一財）自治体国際化協会と各都道府県の国際交流協会が構成する協議会に参加し、事業の連携や意見交換を図る。

(3) 県内国際交流情報提供及び国際理解推進事業

60千円（5年度 60千円）【自主事業】

1) 県内の国際交流に関する情報を収集しHP等により提供する。

2) 国際理解教育・国際協力に関する参加セミナー等をJICAと連携して開催し、世界や地域の課題への関心を高めるとともに、国際的な市民活動の活性化を図る。

また、県内開催の他国のイベントに協力し交流を図る。

3 外国人患者救急医療費補填事業 4,250千円（5年度 4,250千円）【県補助事業】

本県に在住、就労する外国人の緊急的な医療が適切に確保されることを目的として、何らかの理由で公的医療保険等の適用を受けられず未収となった外国人患者の医療費を一部補填する。

4 受託事業

(1) 地域国際化推進サポート事業 1,495千円（5年度 1,473千円）

【民間受託事業】

（一財）自治体国際化協会群馬県支部から業務を受託し、翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を行う。

(2) 群馬県日本中国友好協会業務受託事業 800千円（5年度 400千円）

【民間受託事業】

群馬県日本中国友好協会から業務を受託し、交流事業に伴う情報収集・発信等の業務を行う。

II 観光物産振興・推進事業（公益目的事業2）

1 観光情報発信・広報宣伝事業

県内各地の観光地・観光資源を市場に効果的に発信するため、WEB や SNS、冊子など各種媒体を駆使した広報活動を行う。

（1）WEB・SNS企画・編集 3,100千円（5年度 4,980千円）

【県・市町村 負担金事業】

観光公式サイト「観光ぐんま」へ掲載する特集記事等については、外部ライターを活用し、観光素材の魅力をより深く伝えるとともに市場動向に合わせた弾力的なコンテンツを作成する。昨年リスタートした公式SNSにおいては、管理ツールを活用し、オンライン上の群馬に関する情報流通量の増加を狙う。

（2）デジタル情報発信事業 4,400千円（5年度 4,850千円）【自主事業】

観光公式サイトやSNSを核に、消費者行動の変化に応じた情報発信を安定的かつ戦略的に継続するため、専門人材を配置する。協会職員による取材を含めたSNS発信やフォトコンテスト等の展開により、オンライン上の情報流通量の増加と認知の拡大を図るとともに、観光公式サイトへの集客を強化する。

（3）広報宣伝・イベント参加 1,500千円（5年度 6,200千円）【自主事業】

県外の観光客を対象とした高速道路SAやJR主要駅などの観光物産展で広報宣伝を図る。

（4）観光情報基盤整備 300千円（5年度 800千円）【県・市町村負担金事業】

県内の各種団体等との会議、情報交換や、情報収集を通じ、各地の観光地・観光資源を県内外に効果的に発信し続けるための基盤を整備する。

2 観光誘客事業

広く全国からそして国外から県内への誘客を促進するため、県や地域観光団体、宿泊施設等の多様な関係者と連携し、観光プランの造成や商談マッチング・誘客イベントの参加などにより、リトリートの推進と受入体制を構築する。

（1）誘客プロジェクト 【県・市町村負担金事業】 廃止

（2）海外誘客対策事業

1) 海外セールスプロモーション 1,000千円（5年度 1,000千円）【県補助事業】

海外からの更なる誘客を促進するため、現地へのセールスプロモーションやインバウンド商談会への参加及び教育旅行関係者等招請事業などの誘客事業を実施する。

2) インバウンド人材配置 5,800千円（5年度 5,800千円）【県補助事業】

中国・台湾を中心とする東アジアからの誘客を進めるため、プロモーション事業や受入体制の整備に取り組む専門人材を配置する。

(3) 多様な関係者との連携事業 3,500 千円 (5 年度 3,500 千円)

【県・市町村負担金事業】

東日本高速道路株式会社関東支社高崎管理事務所との事業提携し県内周遊ガイドブック等を作成するなど、多様な関係者との連携を図り誘客促進を図る。

(4) 地域コンテンツ流通促進 3,450 千円 (5 年度 4,400 千円) 【自主事業】

地域資源を活かしたコンテンツ造成からターゲットに応じた販路づくりまで一貫して取り組むことを通じ、地域コンテンツ (体験プログラム) の市場への流通を促進させ、観光消費額の増加を狙う。

個人旅行者に向けては、観光公式サイトでの予約導線をつくり、商品化のフェーズにある旅行者に対しては、現地視察のアテンド、商談のマッチング、ユニット卸の提案を行う。

(5) 受託事業

1) 群馬県スキー場経営者協会業務受託事業 1,749 千円 (5 年度 1,749 千円)

【民間受託事業】

本県冬季観光産業のメインである県内スキー場の活性化と誘客等を効率的・広域的に実施するため、群馬県スキー場経営者協会の事務局業務を受託する。

2) ググっとぐんま観光宣伝推進協議会協定 500 千円 (5 年度 500 千円)

【民間受託事業】

ググっとぐんま観光宣伝推進協議会の事務局業務等を受託する。

(6) 負担金・拠出金

1) ググっとぐんま観光宣伝推進協議会負担金 0 円 (5 年度 0 円)

(協議会事業)

・ 広域連携 ・ 受入体制 ・ 地域支援

2) 日本観光振興協会拠出金 1,200 千円 (5 年度 1,200 千円)

日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に拠出する。

3 観光地域づくり・人材育成事業

変化の激しい社会において、自立的・継続的に魅力ある観光地域づくりを行うため、活動の中心となる専門人材の配置や人材育成のための研修会を行うとともに、地域づくりに必要となるデータの収集、整理や新たな地域づくりに資する協働の実施、表彰等の意識啓発事業等を行う。

(1) 地域づくり事業

1) データマーケティング高度化事業

45,810 千円 (5 年度 26,909 千円) 【県受託事業】

県域をマネジメント対象とする観光地域づくり法人 (登録DMO) として、観光入込客数などの観光統計に加え、ビッグデータや市場動向調査等を一元的に集約し、タイムリーに提供できるデータプラットフォーム「群馬県版 DMP」を構築・運営し、市町村等の課題を解決するため、専門家を活用しデータ分析に基づいた効果的な施策を提案する。

2) 魅力ある観光地域づくり (データプラットフォーム運営)

17,530千円(5年度 10,000千円) 【県・市町村負担金事業】

市町村等へのコンサルティング、協働施策の実施などを通じ、地域の課題解決に貢献する。

3) 観光統計整備委託事業 10,000千円(5年度 10,000千円) 【県受託事業】

観光庁共通基準に基づき県内観光地で実施する観光客動向調査(パラメータ調査)、群馬県基準による観光地点の入込客数、消費額を中心に、各種観光統計を整備する。

(2) 中核人材育成 1,450千円(5年度 1,500千円) 【県・市町村負担金事業】

1) ぐんま観光リーダー塾

地域における観光地域づくりをリードする中核人材の育成を行うため、研修会「ぐんま観光リーダー塾」を開催する。

2) 次世代型リーダーセミナー

管理職やリーダー層を対象に、チームビルディングなど人材マネジメントや会計、関連法規の基礎について知識を身に付け、また会員相互の交流を図るため、「次世代型リーダーセミナー」を開催する。

(3) 表彰・後援等 200千円(5年度 200千円) 【県・市町村負担金事業】

1) 表彰

①観光関係者功労者表彰

観光事業の発展に資することを目的に観光事業に功績のあった者を表彰する。

②観光物産優良事例表彰「ベストプロジェクト・オブ・ぐんま」表彰

観光の観光及び物産振興の励み、モデルとなる事例(取組)を表彰する。

2) 後援等

①観光関係の行事等の後援及び賞の交付

地域の観光振興行事・事業等に後援や表彰、支援を行う。

(4) Webマーケティング事業 【県受託事業】 廃止

(5) ぐんまの山岳観光推進事業 10,400千円(5年度 11,000千円) 【県受託事業】

ぐんま県境稜線トレイルやぐんま百名山をフックに、周辺の観光資源とともにぐんまの山岳コンテンツとして、観光公式サイト等で発信し、観光消費額の増加とイメージの定着によるブランディングを図る。

- 1 登山アプリと連動したキャンペーン
- 2 山岳観光webサイトの充実
- 3 山のグレーディング製作

4 群馬県産品普及宣伝事業

群馬県産品の紹介・宣伝及び販路拡大並びに消費拡大と認知度アップを図るとともに、県内物産業者の販売ノウハウの育成等を図るため、関係機関と連携し、各種事業を行う。

(1) 品質及びデザインの向上促進及び指導に関する事業

- 1) 群馬県優良県産品推奨に対する協力 収入705千円 支出387千円

(5年度 収入405千円 支出281千円) 【自主事業】

県が「群馬県優良県産品推奨制度」により指定した推奨品の販売促進に資するため、推奨シールの普及を図るとともに、販売を行う。

(2) 物産展等開催事業

群馬県産品及び物産業者の紹介・宣伝及び販路拡大並びに消費拡大と認知度アップを図るため、県及び関係団体と連携し次の事業を行う。

1) 物産展等開催等 収入4,346千円 支出1,976千円

(5年度 収入5,500千円 支出2,363千円) 【自主事業】

各種物産展等を県内外において開催する。(年間10回程度)

併せてMICE誘致・開催支援策として物産販売等を行うとともに、新たな販路開拓としても活用する。

2) 群馬県産品常設販売コーナー「ぐんまるしえ」・「ぐんまーと」の運営

収入2,913千円 支出50千円 (5年度 収入3,100千円 支出50千円)

【自主事業】

民間の大型商業施設等と連携し、常設販売及びコーナー設置を推進する。

・「ぐんまるしえ」常設販売 イオンスタイル高崎・イオン太田店他

・「ぐんまーと」常設販売 ハンプティードンブティードン太田飯塚店

(3) ぐんまカタログギフト販売事業 収入1,114千円 支出899千円

(5年度 収入2,000千円 支出1,429千円) 【自主事業】

「カタログギフト」による群馬県産品の販売を促進する。

(4) 物産振興助成等情報交換事業 308千円 (5年度 307千円) 【自主事業】

各地域物産振興協会が中心となって開催する地域の物産展、展示即売会、インターネットやカタログ等の通信販売事業等の物産振興事業に対してその経費の一部を助成する。

各地域物産振興協会等との情報交換を行う連絡会議を開催する。

(5) 協会物産振興改革推進事業【新規事業】

1) 物産振興にむけた物産業者対象セミナー開催 350千円【自主事業】

各地域物産振興協会等の会員及び当協会賛助会員の物産業者の育成を目的に、県産品の消費拡大・販路拡大や衛生管理に繋げるセミナーを開催する。

2) 物産展等における県産品情報発信事業 1,650千円【自主事業】

物産展等に出店する県産品の情報などをSNSで紹介し、購買意欲向上に繋げる。

(6) 群馬県産品オンラインアダバタイズ事業 【自主事業】 (廃止)

(7) ぐんまふるさと納税お礼の品提供等事業 【県受託事業】 (廃止)

5 MICE推進

群馬県内各地にMICEを誘致することにより、群馬県内の交流人口の増加、MICE関連産業の振興を図る。

また、MICE主催者へエクスカージョンの提案などにより県内域への観光周遊を促すとともに、会場内で群馬県ならではの物産コーナーを提案するなど、MICEによる経済波及効果を周知し県内観光振興及びおよび物産の振興を推進することで収益を確保する。

(1) 誘致・開催支援及びMICE主催者等と県内事業者のマッチング支援事業

22,786千円(5年度 22,786千円) 【県受託事業】

学会や全国大会、各種団体等の会議・研修・展示会等のMICE誘致及びMICE開催における県内事業者紹介等の支援を行う。

1) 群馬県内へのMICE誘致の強化

- ① データを活用し県内外の学会、協会などの有力主催者や旅行会社へ情報収集等の営業活動により群馬県での開催を促す。
- ② MICE誘致商談会へ出展し群馬県をPRする。
- ③ 主催者及び参加者の満足度向上の為、県内域のユニークベニユーを始めとした群馬県ならではのエクスカージョン、体験等の開発をする。

2) MICE開催支援

主催者の要望や相談に応じ主に以下の支援を行う

- ① 主催者の要望に応じたMICE会場の紹介や手配、宿泊施設等の紹介や手配する。
- ② 主催者の要望に応じて県内事業者を紹介し、受注機会の創出とともに経済波及に貢献する。
- ③ 主催者の要望に応じてコンベンションバッグや観光パンフレットなど提供する。

III 旅行業事業(収益事業1)

収入5,900千円 支出1,449千円(5年度 収入3,521千円 支出1,224千円)

登録旅行者として宿泊誘客を促進し宿泊手配、受注型、手配旅行の請負等を行う。またMICE案件の宿泊手配依頼については登録旅行業による手数料収益を確保する。

IV 観光施設事業(収益事業2)

収入4,500千円 支出6,969千円(5年度 収入6,057千円 支出8,480千円)

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設(厚生文教団地等、オートキャンプ場)の管理運営を行う。

特に赤城については、今年度、県のキャンプ場整備に合わせ、県、既存利用者と管理について協議し、在り方を定める。

V 財団の運営

1 理事会、評議員会の開催

事業計画、予算、その他の重要事項等について審議を行うため、理事会、評議員会を6月、3月に行う。また、必要に応じ臨時会を開催する。